

検討会の討議事項および今後の進め方

①検討会の運営概要

- 本検討会は調査事業推進にあたり、調査・分析方針の設定、それに必要な項目の策定などを各専門の有識者の議論により明確にするものである。
- 委員は、有識者8名で構成する。
- 年4回の開催予定とする。(スケジュールは後頁)

②検討会委員

| | | | | 五十音順 |
|----------|----------------------------|-------|--------------|------|
| 氏名 | 所属 | 役職 | 専門 | |
| 岩船 由美子 | 東京大学 エネルギー工学連携研究センター | 准教授 | 省エネルギー | |
| 上田 隆穂 | 学習院大学 経済学部 | 教授 | マーケティング | |
| 小野田 弘士 | 早稲田大学 環境総合研究センター | 准教授 | エネルギー・LCA | |
| 喜連川 優(※) | 東京大学 生産技術研究所 | 教授 | 情報管理・利活用 | |
| 辰巳 菊子(※) | (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 | 常任顧問 | 消費者問題 | |
| 那須野 元庸 | 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 | 主任研究員 | スマートハウス・HEMS | |
| 本藤 祐樹(※) | 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 | 教授 | エネルギー・LCA | |
| 森口 祐一(※) | 東京大学大学院 工学系研究科 | 教授 | LCA・見える化 | |

※：平成23年度 家庭エコ診断推進基盤整備事業検討会／分科会 委員

③検討会日程

| | 開催時期 | 討議内容(案) |
|-----|----------|---|
| 第1回 | 9月21日(金) | <ul style="list-style-type: none">▪ 事業内容▪ HEMSサービスの付加価値向上に向けて設定した仮説▪ HEMSサービスの予備調査の報告と本格調査の計画▪ HEMSデータの有効利用に向けた分析計画▪ 大規模データ利活用と情報保護のあり方の検討方針▪ モニター募集状況の報告と家庭エコ診断の効果検証の方針 |
| 第2回 | 11月上旬 | <ul style="list-style-type: none">▪ HEMSサービスの調査結果の報告▪ データ取得状況の報告および分析の進捗状況の報告▪ データ利活用に向けたガイドラインの作成結果の報告▪ 家庭エコ診断の実施結果の報告 |
| 第3回 | 1月中旬 | <ul style="list-style-type: none">▪ HEMSデータ分析の進捗状況の報告▪ 分析したデータの有効利用に向けた事業者へのヒアリング結果▪ HEMSデータのオンライン連携テストの進捗報告▪ 家庭エコ診断の効果検証の進捗報告 |
| 第4回 | 3月上旬 | <ul style="list-style-type: none">▪ 最終結果報告▪ 来年度の取り組みについて |

④本日の検討内容

| 業務領域 | 項目 |
|-------------------------------|---|
| HEMS利用の付加価値向上に資する仕組みの構築のための調査 | HEMS機器・サービスの付加価値向上に向けた仮説の設定 |
| | HEMSサービスを対象としたWEB・カタログによる現状調査項目の設定 |
| | HEMSサービスの課題仮説検証のためのユーザーに向けたヒアリング調査項目の設定 |
| | HEMSデータ活用に向けた事業者へのヒアリング調査項目の設定 |
| HEMS利用によるエネルギー消費データ収集と分析 | 設定した利用仮説に基づくエネルギー消費データの分析計画 |
| | 収集データ及びデータベースの構築について |
| | 大規模データ利活用と情報保護のありかたの検討 |
| うちエコ診断の効果検証 | 効果検証に向けたモニターグループの設定方法について |
| | 効果検証のための分析方針について |
| | 診断方法改善のための効果の要因分析方針 |